

## ささしまライブ24地区の土地取得について

中京テレビ放送株式会社（本社：名古屋市昭和区高峯町、代表取締役社長：徳光彰二）は、現社屋の狭隘化を解消するとともに、昭和区と中区栄とに分離している本社機能を統合して業務効率を向上させることなどを目的に新社屋の建設を検討していましたが、このほどUR都市再生機構中部支社が実施した「ささしまライブ24地区東街区（7, 120㎡）の土地譲受人募集」に応募し、落札しました。新社屋は2016年度の竣工をめざして建設を進めていく予定です。

ささしまライブ24地区は名古屋駅の南1kmに位置し、国際歓迎・交流の拠点づくり等のコンセプトのもとに名古屋市が整備を進めています。ここにはすでにJICA中部国際センターやライブハウス、シネマコンプレックス等が進出しているほか、現在愛知大学が新校舎を建設中で、来春からは8千人前後の学生が通うようになります。また、豊田通商株式会社を代表とする企業グループが手がける中核施設「(仮称) グローバル・ゲート」の建設が予定されており、ここにはオフィス、商業施設に加え国際会議等にも対応できる都心型コンファレンスセンターと一体的運営のホテルが導入されることになっています。情報発信機能を持つ放送事業者として、こうした地区内の施設・研究機関等と連携することによって、名古屋の国際化に向けた新たな取り組みができるのではないかと期待しています。

また、隣接する大規模な都市公園を活用することによるさまざまなイベントの開催や、2016年度開通予定の都市計画道路椿町線によって新幹線名古屋駅からのアクセスが車で数分になるなど、この地区の立地を生かして、地域のみならずとトップレベルのエンターテインメントや文化との交流を深める機会を増やすなど、地域に密着した活動も多彩に展開していきたいと考えています。

さらにこの地区では、環境に配慮した先進的な取り組みが進められていることから、新社屋においても、屋上緑化、壁面緑化などの先進技術の採用や下水再生水を利用した地域冷暖房の導入にも積極的に取り組み、低炭素社会に向けた対応を強めます。また、今回の東日本大震災の教訓を生かし、免震構造の採用や高性能の非常用発電装置の設置などによって防災性を強化し、報道機関としての責務が確実に果たせるように設計、建設する予定です。

【問い合わせ先】 中京テレビ放送 新社屋準備室 電話：052（839）2323